記者発表資料

令和7年 2月 25日
湯　　沢　　市
羽　　後　　町
湯沢河川国道事務所

雄物川上流「山田頭首工」の改築工事に着手
～3月2日に起工式を行います～

山田頭首工は、昭和27年に築造され、昭和45年の改築を経て現在の施設（固定堰）となっていますが、洪水時には流水の阻害となっていました。

そのため、治水安全度の早期向上を目指して、『山田堰（可動堰）』としての改築事業に着手することになりました。

つきましては、工事の安全と早期完成を祈念し、起工式を執り行うこととしましたのでお知らせします。

■起工式

日　時　：　令和7年3月2日（日）　10 時 30 分～

場　所　：　秋田県湯沢市下関字下舞台5-1　三関地区センター
（別紙－1）

主　催　：　湯沢市、羽後町、湯沢河川国道事務所

次　第　：　挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、工事概要、地域代表挨拶、セレモニー等

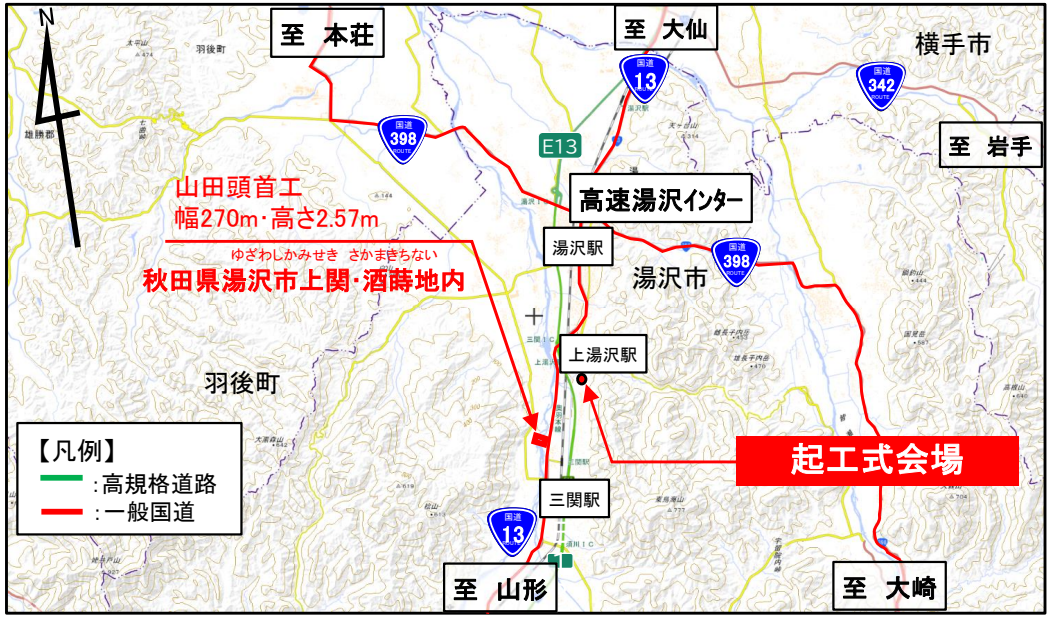
※注意事項
1）取材を希望される報道関係者の方は、2月27日（木）15時までに「別紙申込書」記載の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただきますようお願いします。
2）本式典は、招待者のみでの開催となっております。

＜発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、他 報道機関＞

問 い 合 わ せ 先
国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所 電話番号：0183-73-3174（代表） 副所長（河川担当）　岩沢　博章　（内線204）

起工式会場　案内図　　別紙―1

【起工式会場　位置図】



出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

■起工式

1）日時：令和7年3月2日（日）10時30分～

2）場所：湯沢市下関字下舞台5-1三関地区センター
（ゆざわし　しもせき　しもぶたい）

3）主催：湯沢市、羽後町、湯沢河川国道事務所

4）概要：挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、工事概要、地域代表挨拶
セレモニー等

※お車でお越しの報道関係の方は、「起工式会場詳細図」を参照下さい。

※報道関係者の方は、別添「取材申込書」による事前申し込みをお願いします。

【起工式会場　詳細図】

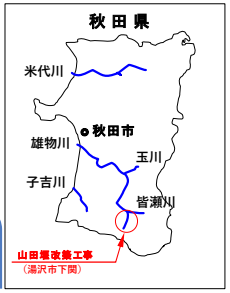


出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

山 田 頭 首 工 の 改 築 事 業 概 要

■事業内容

山田頭首工は固定堰のため、近年洪水では計画高水位まで水位が上昇するなど、流水の阻害が課題となっていることから、治水安全度の向上を早期に図るため、可動堰への改築を実施します。



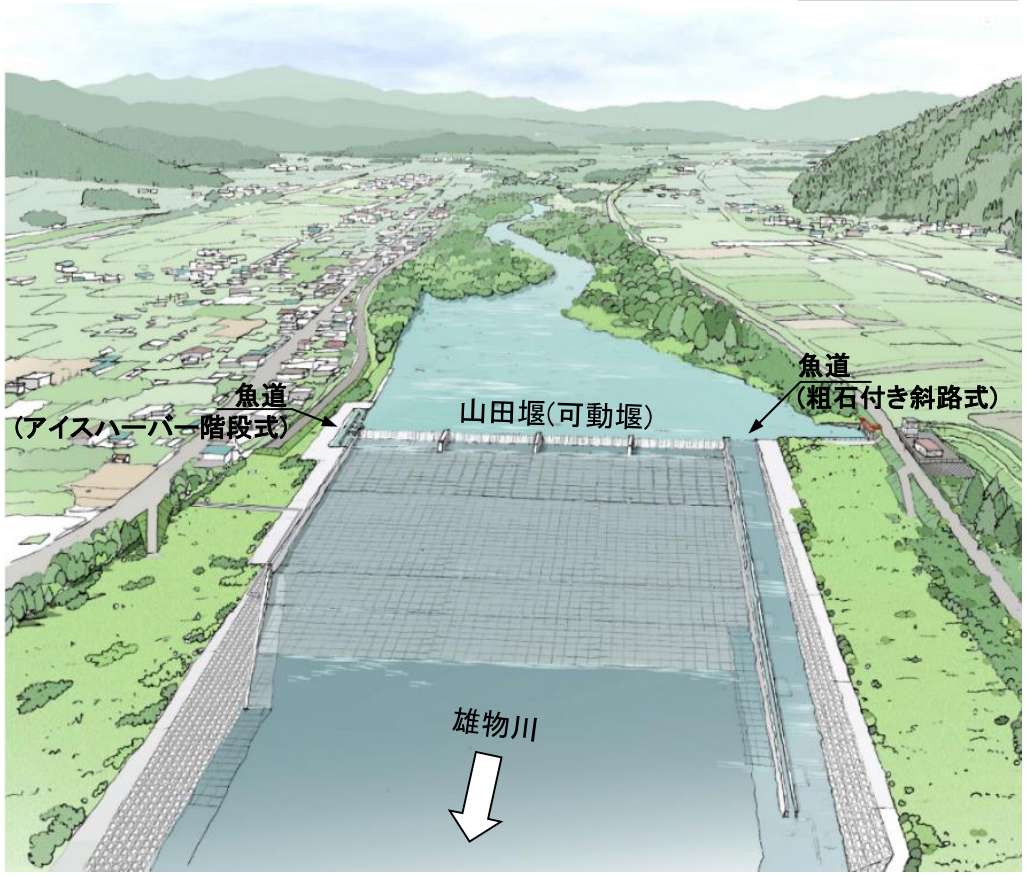
整備前



現状の課題

山田頭首工は、農業用の取水施設として利用されてきました。しかし、「固定堰」であることから、洪水時には水位上昇が生じ、流水の阻害となっています。また、下流の河床低下等により、魚が魚道を遡上しにくい等、環境面でも問題を抱えています。

山田頭首工改築後の完成イメージ

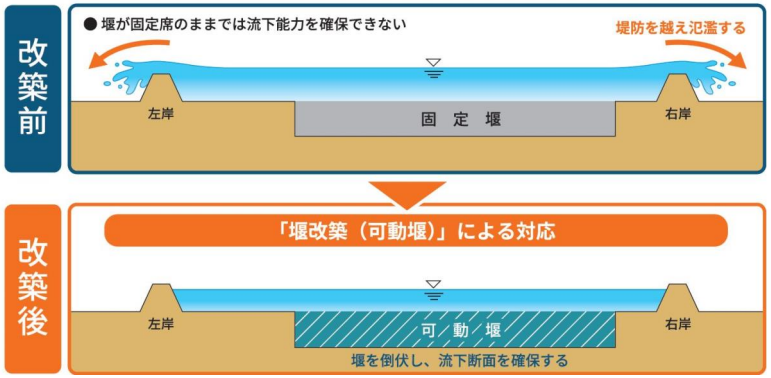


山田頭首工の改築の必要性＜流水の阻害＞

- 雄物川上流四堰は洪水時の堰上げ等により水位上昇が生じ、流水の阻害となっており、下流から固定堰の改築・撤去を実施してきた。
- 山田頭首工は昭和62年8月洪水において、堰上げにより計画高水位を60cm程度超過した実績があり、平成16年7月にも計画高水位まであと15cmと迫った実績がある。
- 山田頭首工付近で破堤氾濫が生じた場合、沿川集落や国道13号、JR奥羽本線のほか、下流の広範囲にわたり浸水が拡散し甚大な被害が想定される。

堰改築の必要性

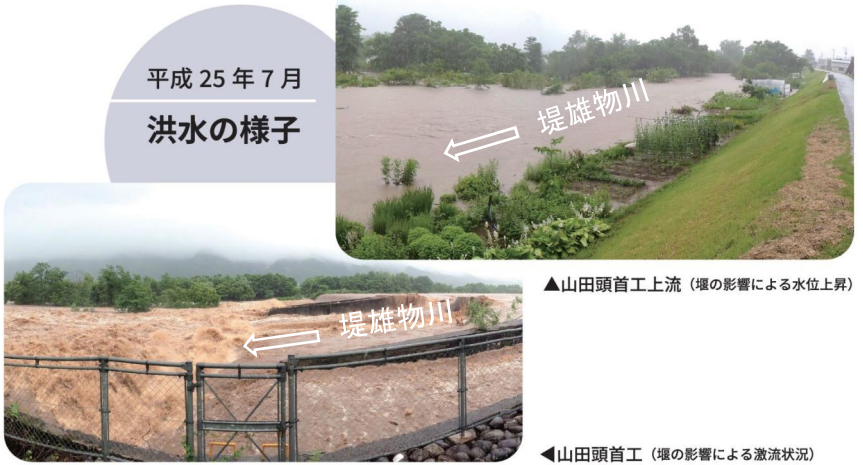
流下能力を確保するには堰改築が必要



山田頭首工右岸上流（雄物川107.2k付近） 平成16年7月洪水の状況







送信先：湯沢河川国道事務所　工務第一課あて
thr-752kouichi■ki.mlit.go.jp（■を@に置き換えてください）

別紙申込書

「雄物川上流山田堰改築事業起工式」
取材（傍聴）申込書

取材を希望される報道関係者の方は、以下の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただきますようおねがいします。

電子メール送付期限 ： 令和７年２月27日(木)15:00

1. 会 社 名

2. 氏 名

3. 連 絡 先 （TEL、E-mail）

4. 取 材 人 数 （代表者を含む）

5. テレビカメラの有無「有」の場合（テレビカメラの台数）